

アルミ缶 リサイクル ニュース

January
1
2018

Vol. 142

CAN
to
CAN



アルミ缶リサイクル協会

Japan Aluminium Can Recycling Association

東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階
Tel.03-6228-7764 Fax.03-6228-7769 〒104-0061

<http://www.alumi-can.or.jp>



2018年 年頭所感 循環型社会構築への貢献に向けて



新年あけましておめでとうございます。

2018年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年ではトランプ大統領が就任した初年度でしたが、環境や人種差別問題、中東対応などで、これまでと異なる姿勢が示され、また北朝鮮も度重なるミサイル発射で全世界に挑発を続けており、国際情勢は今年も予断を許さない年になると思われま

こうした中で、一昨年2016年度のアルミ缶市場はコーヒー飲料のアルミボトル缶の拡大や、酎ハイ類の販売好調により224億缶が消費されました。昨年はやや天候不順に見舞われたものの、ほぼ同程度の出荷があったものと思われま

当協会は容器包装の八団体で構成する「3R推進団体連絡会」のメンバーですが、昨年は「第3次自主行動計画」の初年度として、リデュース率を5.5%、リサイクル率90%以上を維持することを目標として取り組みました。実績としてリデュース率は初年度5.1%に留まりましたが、リサイクル率は92.4%と、目標の90%以上を2年連続で達成することが出来ました。

アルミ缶はその優れた特性と高いリサイクル適性を持つ容器として、早くから消費者の方々に認知され、回収活動は容器包装八素材の中では比較的早期に始まり

ました。消費者、回収団体(学校、町内会等)、自治体、事業者のご協力もあり、リサイクル率はこの10年間、安定的に80%以上を維持出来ております。

また昨年は、消費者・教育機関・産業界・行政など多くの主体が連携する「3R推進団体功労者等表彰」で、当協会の推薦団体が最上位の内閣総理大臣賞を受賞いたしました。関係各位には改めて深く敬意を表しますと共に、永年に亘るアルミ缶回収活動へのご協力に対して厚く御礼申し上げます。今後よりリサイクル活動支援の一環として回収功労者、功労団体の掘り起こし、顕彰を続けてまいります。

最後となりましたが、今年一年の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



アルミ缶リサイクル協会
理事長 富永 泰夫



3R推進団体連絡会 第3次自主行動計画のフォローアップ報告

12月11日、当協会を含む容器包装の3Rを推進する八団体が纏めた自主行動計画2020(2016年度～2020年度)の初年度フォローアップを経団連会館にて行いました。

この自主行動計画は、容器包装の3R、特にリデュース、リサイクルの推進を軸に、事業者が自主的に取り組んでいるものです。

リデュースは、軽量化・薄肉化など資源の有効利用とごみの減量化を目指す取り組みで、2016年度は当初目標に対して、4団体が2020年度目標を上方修正し、リ

サイクルでも6団体が数値実績を向上させるなど進展がみられました。

また、容器包装3R推進フォーラムや、意見交換会、3R市民リーダー育成プログラムなどを実施しました。普及・啓発としては、エコプロ2016への出展、消費者意識調査、神戸大学との共同研究なども行い、市民、自治体など関係各主体との連携・協働への取り組みも深化しました。3R推進団体連絡会は、引き続き、関係各主体との連携を深め、循環型社会の推進に努めていきます。





2017年(平成29年)度 アルミ缶一般回収協力者表彰決まる!

当協会は、アルミ缶リサイクルの推進、普及活動として、毎年アルミ缶の回収に協力頂いている小・中学校及び一般団体を対象に優秀な回収活動実績に対し表彰する制度を設けています。今年度は昨年9月に小・中学校の優秀賞、今回は一般団体の優秀賞を決定しました。本年度も当協会に登録している全国の回収拠点様から102団体を推薦頂き、選考の結果64団体を表彰することと致しました。受賞された団体の皆様おめでとうございます。心よりお喜び申し上げますと共に日頃のアルミ缶リサイクル活動への協力に対しまして御礼申し上げます。また、残念ながら今回の選に漏れました団体様には来年度の受賞を目指して継続的に活動して頂けると幸いです。また、推薦をいただきました回収拠点の皆様には、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



新規受賞 敬称略 (都道府県順)

<ul style="list-style-type: none"> ① 沖館第三町会 ② 幸畑阿部野町会 ③ 西近野町会 ④ 平成町会 平成町公民館 ⑤ 並木西旭クラブ ⑥ 社会福祉法人 すぎな会 飯豊町福祉事業所 でんでん ⑦ 犬塚子ども会育成会 ⑧ 社会福祉法人 久喜市社会福祉協議会 久喜市くりの木 ⑨ おがのふれあい作業所 ⑩ 所沢市立こあふる ⑪ 特定非営利活動法人 越谷市手をつなぐ育成会・友 障害福祉サービス事業所 千草園 ⑫ 東小岩中央自治会 ⑬ むつみ工房 ⑭ 池袋三丁目北町会 ⑮ 南小岩西南町会 ⑯ 亀戸三丁目宮元町会子供会 ⑰ 小松川さつき自治会 ⑱ 今三町会女性部 ⑲ 東大和子ども劇場 ⑳ 久保町第二自治会 ㉑ 菅沢町子ども育成会 ㉒ 社会福祉法人 新川会 さつき苑 ㉓ 川浦子どもクラブ ㉔ 社会福祉法人 福浜会 松ぼっくり ㉕ 上石田町自治会 ㉖ 駿豆学園管理組合 ㉗ 社会福祉法人 草笛の会 菊川寮 ㉘ 社会福祉法人 ステップ・ワン ㉙ 夕路女性会 ㉚ 松葉保育園 まつぼっくりの会 ㉛ 特定非営利活動法人 みどりの家 ㉜ 西川組 ㉝ 陶器町産業廃棄物減量推進委員会 ㉞ 特定非営利活動法人 こぐまくらぶ ㉟ 曾根南之町子ども会 ㊱ 東大溝ゴミ(資源)回収グループ ㊲ 貴崎自治会 ㊳ 北野北少年団 ㊴ NPO法人ゆうあい城山ホーム保護者会 ㊵ 上屋敷子供会 ㊶ 土居子供会 ㊷ 共愛子供会 ㊸ 大須めばえ会 ㊹ 河内小学校PTA子供会 ㊺ イエローバタフライ 合同会社 糸島たんぼぼ ㊻ 高城台自治会 ㊼ 横尾たんじり保存会 ㊽ 下宮崎自治会 	       	<ul style="list-style-type: none"> 青森県青森市 青森県青森市 青森県青森市 青森県平川市 青森県十和田市 山形県西置賜郡飯豊町 栃木県小山市 埼玉県久喜市 埼玉県秩父郡小鹿野町 埼玉県所沢市 埼玉県越谷市 東京都江戸川区 東京都渋谷区 東京都豊島区 東京都江戸川区 東京都江東区 東京都江戸川区 東京都台東区 東京都東大和市 神奈川県横浜市西区 神奈川県横浜市鶴見区 富山県中新川郡上市町 山梨県西八代郡市川三郷町 静岡県磐田市 静岡県浜松市東区 静岡県伊豆市 静岡県菊川市 静岡県御殿場市 愛知県名古屋市長瑞穂区 愛知県豊橋市 三重県四日市市 滋賀県犬上郡甲良町 京都府長岡京市 兵庫県神戸市垂水区 兵庫県高砂市 兵庫県明石市 兵庫県明石市 兵庫県加古川市 和歌山県田辺市 和歌山県田辺市 岡山県浅口市 岡山県浅口市 広島県安芸郡府中町 広島県東広島市 福岡県糸島市 長崎県長崎市 長崎県長崎市 長崎県佐世保市
--	--	--

- 49 第二小瀬戸むつみ会
- 50 弥生地区ゴミ文化会(弥生自治委員会)

長崎県長崎市
大分県佐伯市



再選受賞 敬称略(都道府県順)

- 1 社会福祉法人 東京愛隣会 鹿沼愛隣福祉センター
- 2 榛名福寿会
- 3 社会福祉法人 よるべ会 梅香園
- 4 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 柿生学園
- 5 特定非営利活動法人 KOMNYすみれの家
- 6 栄町三、四丁目子ども育成会
- 7 社会福祉法人 蟹江福祉会 かにえワークス
- 8 大宝幼稚園保護者会
- 9 社会福祉法人 ノエル福祉会 障害福祉サービス事業所 ノエルしごとの家
- 10 社会福祉法人 くすのき福祉会 スペース遊
- 11 関谷ワークセンター・せと
- 12 なでしこ共同作業所
- 13 特定非営利活動法人 海田なかよし実習所
- 14 神崎市老人クラブ連合会千代田支部



栃木県鹿沼市
東京都八王子市
神奈川県小田原市
神奈川県川崎市麻生区
神奈川県足柄上郡松田町
神奈川県横浜市鶴見区
愛知県海部郡蟹江町
滋賀県栗東市
滋賀県大津市
大阪府守口市
岡山県岡山市東区
岡山県岡山市北区
広島県安芸郡海田町
佐賀県神崎市



2017年(平成29年)度優秀回収拠点表彰



優秀回収拠点表彰は、当協会に登録している回収拠点様の中から当協会の活動に特にご尽力、ご協力下さった拠点様を表彰する制度です。

本年度は選考の結果、次の2社を表彰することにしました。受賞された拠点様には日頃からのご協力、ご尽力に感謝申し上げます。

小森産業株式会社 岐阜県美濃加茂市

昭和35年創業。子供達の為に、今以上により良い生活環境や自然環境を保護することを社方針にあげており、食品廃棄物を堆肥にリサイクルする設備も保有、堆肥販売も行っています。



林金属工業株式会社 長野県諏訪市

昭和20年創業以来、地球環境保全への取り組みを経営の重要課題とし環境方針を掲げて事業を運営しています。一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬、金属類・古紙・貴金属の回収・販売、他にホテル経営・不動産業も行っています。



2017年(平成29年)度「アルミ缶小・中学校回収協力者表彰」表彰風景



八幡浜市立双岩小学校



美濃加茂市立三和小学校



弘前市立船沢小学校



神崎市立脊振小学校



県立青森第二養護学校中学部



中泊町立薄小小学校



米子市立五千石小学校



南部町立名久井小学校



諫早市立小野中学校



板柳町立板柳北小学校



藤崎町立藤崎小学校



大洲市立大洲南中学校



大洲市立大洲小学校



長崎市立山里中学校



八幡浜市立江戸岡小学校

エコプロ2017出展 明るく開放的なブース。 クイズでアルミ缶リサイクルを啓発



エコプロ2017(主催:(一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社)は12月7日(木)~9日(土)の3日間、東京ビッグサイトで、「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマに「環境とエネルギーの未来展」として開催されました。今回19回目となった本イベントへの総来場者数は160,091人で昨年より若干の減となりましたが、当協会ブースへの来場者数は700人増の4200人となりました。

当協会のブースでは「アルミ缶の歴史を知ろう!」をテーマに、アルミ缶のリデュースの変遷をパネルとアルミ缶の現物展示で理解を深めてもらいました。また、ボーキサイト・アルミナ、再生地金、アルミ缶スクラップのプレス品も展示し回収されたアルミ缶がどのようにしてリサイクルされるのかも見て頂きました。アルミ缶のリサイクル工程やリサイクル効果、リサイクル率や回収ルート、アルミ缶の軽量化の推移等の展示説明を行い、そのおさらいとして出口で簡単なクイズに挑戦して頂きました。

アルミ缶回収はアルミ地金を100%近く輸入している日本にとって大切な資源回収であること、製造時のエネルギーを大幅に削減できることを説明しましたが、多くの皆さんから「アルミ缶のリサイクルについて、思い違いをしていたところがたくさんあった」との声を頂き、「アルミ缶リサイクル活動についてさらなるPRが必要」と感じました。

比較的大人の来場者が多く、アルミ缶を使って制作された精密な鶴のオブジェ(アルミ缶を使った折り鶴)が来場者の目を引いていたのが印象的でした。



ブース全景



ボーキサイト・アルミナ・缶プレス・再生地金



アルミ缶 無地缶



アルミ缶の歴史



鶴のオブジェ



初代アルミ缶と現代缶



ブース風景

協会からのお願い

● タブは缶から外さずいっしょにリサイクル

アルミ缶のタブは環境保護のため、缶フタから離れないようにしてあります。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり危険です。

● ボトル缶のキャップの取扱い

飲料用アルミボトル缶のキャップは、アルミ製です。キャップも貴重なアルミ資源です。キャップ・本体とも軽く水洗いした後、中の水分をよく切ったうえ、キャップを軽く締め、軽く絞って回収してください。

● アルミ缶にタバコを入れないでください

アルミ缶にタバコの吸殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。



編集後記
 昨年は色々とお世話になり、ありがとうございました。本年も宜しくお願い致します。1年が過ぎるのがこんなに早いものだったかと、実感させられる今日この頃です。様々な変化があった年ではありますが、今年は平昌オリンピックに始まり、サッカーワールドカップも開催される等ビッグイベントも目白押しで楽しみな年でもあります。一方で“北”の脅威もあり、予断は許さない状況にあります。今年も一年皆様共々元気で過ごせませう、ご多幸をお祈り致します。

アルミ缶リサイクルニュース第142号

発行日 平成30年1月30日
 発行人 森口 夏樹
 編集人 小林 裕
 発行所 アルミ缶リサイクル協会